

福井県退教通信

編集・発行所
福井県退職教職員会
郵便番号 910-8544
福井市大手2-22-28
福井県教育センター内
電話 (0776)23-9191

第63号

第48回総会開催

2023年度スローガン

今を生きる

～つながり合って～



5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが、「2類相当」から「5類」に変更となった。それに伴い、日退教代表者会も通常の対面の形で開催された。また、各支部総会も全支部が直接招集しての開催または開催予定としている。そこで県退教第48回定期総会も、懇親会は中止にしたが、規約第7条に則る形で総会及び研修会を開催し、各支部代表者と役員等合わせて112名が参加した。

池上会長は挨拶の中で、コロナ感染症の「5類」移行により、県退教及び各支部の活動も通常どおりに戻りつつあること。子育て世代への支援は喜ばしい反面、高齢者の生活に様々な影響が出ていること。本年度新入会員が70名を越えたが、依然として会員の減少傾向に歯止めがきかず、組織の危機に面していること等を述べた。

議事は、報告承認事項として2022年度活動報告、会計報告が承認された。事務局からの会員動向報告後の協議事項では、4号議案「2023年度活動方針、活動計画、5号議案予算案が承認された。」6号議案「2024年度役員改選については、役員選考の進め方等について事務局から説明がなされた。」7号議案を

2023年度主な行事

4月	会員勧誘活動
5月	支部総会(～3月)
6月	9 日退教代表者会(東京) 14～15 北プロ定期総会(富山) 21 第48回定期総会
8月	1 教育請願署名活動 19 退教通信63号発行 教職員体育大会(鯖丹)
10月	24～25 親睦旅行(丹南地区)
11月	11 教研集会
12月	1 退教通信64号発行
2月	中旬 退職者入会説明会
3月	11 代表者会

他の案件では、第27回参議院議員選挙日政連議員候補予定者として水岡俊一氏の推薦についての提案等があり、承認された。
その他、菅谷顧問から戦争体験者として命ある限り、そ



の体験を子どもに伝え続けるとの決意や「教え子」を再び戦場に送らない運動」の強化について意見が参加者より出され、継続して強化策を協議すると確認して議事を終えた。



2023年度役員・支部長一覧

- ◆ 会長 池上 敏和
- ◆ 副会長 堀田 貴子
- ◆ 常任委員 水間 貴子
- ◆ 福井 平馬 吉隆
- ◆ 奥越吉田 坂井 小西 信子
- ◆ 鯖丹・南越 龜谷 良治
- ◆ 嶺南 米野 敦子
- ◆ 監査委員 島田 真保子
- ◆ 顧問 桑原 さとみ
- ◆ 菅谷 淑子
- ◆ 野坂 哲夫
- ◆ 奥本 明義
- ◆ 福井 小林 修二
- ◆ 吉田 秀典
- ◆ 大野 寛治
- ◆ 勝山 高秋
- ◆ 坂井 悦雄
- ◆ 鯖江 春夫
- ◆ 丹生 隆三
- ◆ 武生 明典
- ◆ 今立 賢三
- ◆ 南条 眞一
- ◆ 敦賀 眞章
- ◆ 三方 政志
- ◆ 上方 一雄
- ◆ 小浜 若新 康博
- ◆ 大浜 福島 紀男
- ◆ 編集委員 岩田 美智恵
- ◆ 和多田 訓子
- ◆ 事務局 塚田 雅洋
- ◆ 事務局長 増田 勝三
- ◆ 次長 上埜 良子

令和5年度のご挨拶

会長挨拶



会長 池上 敏和

年、医療費窓口負担が増額され、支給年金は本年も物価高に見合わない事実上の減額です。負担感が増大する一方です。子育て世代への支援については喜ばしいことですが、高齢者の生活も守っていただかなければならないと思っています。

コロナウイルス感染もようやく収まりつつあります。日常の活動が徐々に戻り、皆様の支部でも支部総会を開催することができるようになったのではないのでしょうか。県退教としても、コロナ対策を講じながら、活動を進めていきたいと思えます。皆様のご理解・ご協力の程よろしくお願ひします。

世界に目を向けますと、ロシアのウクライナ侵攻が1年を越えました。全世界の人々の平和への願いが踏みにじられ、停戦がますます困難になっています。この戦争による食糧不足、エネルギー危機は、世界的なインフレを招き、日本も物価高で国民は苦しんでおります。

次に昨今の社会状況で気になっていることをあげます。子育て世代への手厚い支援の影で、私たち高齢者世代に冷たい風が吹いていることです。子育て世代への支援の財源は社会保障費から捻出するようです。そのため、75歳以上の健康保険料の値上げが5月の国会で決まりました。昨

年、医療費窓口負担が増額され、支給年金は本年も物価高に見合わない事実上の減額です。負担感が増大する一方です。子育て世代への支援については喜ばしいことですが、高齢者の生活も守っていただかなければならないと思っています。

このような状況を打破するためにも、日退教(日本退職教職員協議会)との連携がさらに大切であると、考えております。

また、毎年言っていることですが、福井県退教会の課題としては、新入会員の大幅な減少による「会員数の減少」「会員の高齢化」「役員の後継者不足」などがあげられます。これは組織の危機だと認識しており、代表者会や事務局会などで対策を検討しておりますが、なかなか効果が上がっていません。何と云っても効果が期待できるのは、会員の皆様が今まで築き上げてきた人脈を使って口コミで勧誘する方法ではないでしょうか。今年度は、各支部の役員の皆様が中心となって、精力的に勧誘活動を行い、新入会員も久しぶりに70名を越えました。皆様の活動に深く感謝申し上げます。

これからも、一人でも多く入会するように勧誘していただきますようよろしくお願ひします。皆様のご協力・ご支援をお願いし、挨拶とします。

県退職教職員会定期総会の開催おめでとうございます。4月の統一地方選挙では、温かいご支援をいただき、無事当選を果たすことができました。心より御礼申し上げます。現在、教職員の働き方や給得法の見直しを取りざたされています。現場の教職員にとって重要な問題であることは言うまでもありません。教職員に有益な形で見直しが図られるよう注意深く見守っていきたく思います。

令和5年4月の統一選挙で みごと当選された皆様



議員 議員 福井県 2期目 北川 博規

県退職教職員会定期総会の開催おめでとうございます。

4月の統一地方選挙では、温かいご支援をいただき、無事当選を果たすことができました。心より御礼申し上げます。

併せて、議員としては、県や教育委員会がコンプライアンスを重視し、その機能を正しく発揮しているかといった点も厳しくただしていく必要があることを、様々な声を聴くことで改めて自身の役割と捉え直しています。

子どもたちの未来を育む素敵な職場に若者の関心が再び向くように、また、我々の生活基盤を危うくする種々の問題解決のために、精一杯努力しますので、今後とも、ご指導ご支援をお願い申し上げます。

先ず、教育界の最大の課題は、教職員の担い手不足。多忙な教職員の姿を見て、学生が教員を選ばなくなっています。結果として「四月当初から欠員が生じる」「産休・育休・病休の替わりの先生が来ない」などの悪影響が生じています。



議員 議員 福井県 2期目 渡辺 大輔

先ず、教育界の最大の課題は、教職員の担い手不足。多忙な教職員の姿を見て、学生が教員を選ばなくなっています。結果として「四月当初から欠員が生じる」「産休・育休・病休の替わりの先生が来ない」などの悪影響が生じています。

今、教育界の最大の課題は、教職員の担い手不足。多忙な教職員の姿を見て、学生が教員を選ばなくなっています。結果として「四月当初から欠員が生じる」「産休・育休・病休の替わりの先生が来ない」などの悪影響が生じています。

今やるべきは、教職員の働き方改革。そのためには学校部活動など学校以外が担うべき業務、必ずしも教員が担う必要のない業務を洗い出し別の担い手に移行していく、学校DXで業務の効率化を図るなど、あらゆる策を講じていきます。

教職員のため、子どもたちの未来のために頑張ります！



議員 議員 福井県 4期目 玉村 正人

県退職教職員会の皆様には、これまで長年温かいご支援を頂きましてありがとうございます。また、4月に行われました福井市議会議員選挙におきましては、皆様からの力強いご支援を頂きまして、無事4期目の当選を果たすことができました。心から御礼申し上げます。

浦井先生、巳寅先生の後を引き継いで32年間続けてきた議席を再度守ることができてほっとしているところです。時代の著しい変化によって、年金・医療・介護等国の福祉政策は極めて不透明な状況になっています。

学校現場も、学校のDX推進や、中学校部活動の地域移行等新たな課題に対応を迫られてきています。

子どもたちが希望をもって暮らせるまちとなるよう、引き続き精一杯の仕事をさせていただきます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



県退教会の現状と課題

県退教事務局会

新型コロナウイルス感染症の扱いがインフルエンザ並みの5類になりました。感染に注意を払いながらも、社会生活全体がコロナ禍前に戻りつつあります。

本会においても、本年度は活動を可能な限りコロナ禍前に戻すことを6月の総会で決定しました。総会自体も、昨年度規約通りの100名で実施したことに続き、本年度は研修会(懇親会のみ中止)も日程に加えて実施しました。研修会には、勝山支部会員も一員であるコーラスグループ『ユキノシタ』を招き、『歌と語りで紡ぐ星野富弘の世界』と題した研修会を楽しみました。温かやさしい気持ちになれる素敵な時間と共有することができました。

本会にとつて継続した課題である入会者減少の対策としては、一昨年度の入会金引き下げに



学校の現状と課題

深刻な人手不足



福井県職員組合
執行委員長
上 堃 良子

続き、昨年度は入会勧誘のアプローチ強化(現職の校長会や教組への協力要請、勧誘の流れの整理、勧誘対象者への支部の働きかけ強化、県退教案内リーフレットのリニューアル等)に取り組みました。特に各支部の対面による粘り強い勧誘活動が功を奏し、令和に入ってから初めて70人を超える入会者数にすることができました。改めて各支部の皆様への取組に感謝申し上げます。

しかし、会員数は2005年度をピークに減少し続けており、その後増加したことは一度もありません。最近では会員の高齢化が進み施設入所等に伴う退会が増えています。また、入会間もない会員の退会(退会者の2割強)もありますので、会員の死亡数と合わせると、減少数が入会による増加数を大きく上回る状況が続いています。そこで、入会者数を増やす取組とともに、入会後間もない会員の退会を食い止める取組が一層重要になっています。

そのためにも、本会の存在意義あるいは会員や現職教職員員の支持を獲得できる活動が何かといった根本的な部分を探る協議が、重要であると考えています。

新型コロナウイルス感染症

拡大防止のため、この3年間でさまざまな教育活動が制限されてきました。しかし、5月にコロナ感染症の位置づけが5類となり、今年は「3年ぶりの〇〇」が多くなっています。例えば「連合音楽会」「県外への修学旅行」などです。日常では、机をグループにしての給食がもどってきました。子どもたちにとっては、こうした行事や給食などの日常で友達と過ごす時間が学校の楽しみの一つだったりします。一方、教職員も、この3年間で交流の場が極端に減っていました。相当忙しい学校現場ですが、懇親会や教職員組合のレクレーションなどで絆を深め、また仕事を頑張ることができている一面もあります。

さて、コロナ禍だった数年で不登校の子どもたちは年々増えていきました。要因や背景は多様化・複雑化しており、

その原因を一言では言えませんが、私が気になるのは、学校に魅力を感じられずに家で過ごすことを選択するケースがあることです。

教員も精神疾患で一ヶ月以上休んだ人が初めて1万人を超えました。前年度比15.2%増で若い世代ほど高い割合となっています。教員採用試験の倍率も低下が続いています。「教員はブラックな職業」という印象をもつ大学生が少なくないことを文科省も認めており、全国的に教員不足が深刻な状況になっています。福井県でも5月時点で28人の教員不足が報告されています。

本来、教員はやりがいのあるすばらしい仕事です。子どもたちの成長に関わり、その様子をつぶさに目にする事ができる喜びは教員ならではのものです。現実とは言え、今、労働のつらさや大変さばかりがクローズアップされていることが、残念でなりません。私は、今こそ若者が教職に夢や希望をもてるよう、労働条件を整えることが急務であると考えます。

が重要だと思えます。それは、学校の子どもたちにとつても魅力ある学校づくりにつながるのではないのでしょうか。そして、現場の教員の時間確保のために、退職した教職員の皆様のお力を是非お借りしたいと思っています。

県教組では、高齢期における働き方としてフルタイム以外の働き方も要望してきました。その結果、現在、来年度に向けての短時間勤務の募集も始まっています。どうか皆様お力添えをお願いします。勤務以外でも、地域の方として、交流活動や退教の活動として、皆様のニーズに合った形で学校を応援していただければ幸いです。

新任挨拶



新事務局次長
増田 勝三

今回県退教事務局の仕事をさせていただくことになりました。

自分を生かすことのできる場を与えていただいたご縁に感謝しています。微力ではありますが、誠意をもって務めさせていただきます。

2022年度 支部の活動状況

※会員数は、2022年度会費納入者数

福井

支部長：小林 修二
 会員数：712名・会費：2,000円
 85才以上G会員1,000円・P会員0円

- 6/19 支部総会 (60名)
- 親睦研修 (30名)
 ・県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館
- 『カタイケノ』・『教育実践特集号』発行
- ライフチャレンジクラブ支援 (8)
- 退教通信配信、署名請願
- 加入勧誘促進の活動
- 3/16 交流会
 『大人のおなか元気教室とライフチャレンジクラブの紹介』

勝山

支部長：池田 高秋
 会員数：145名・会費：1,000円

- 6/5 支部総会
- 『なにか一言集』発行 (隔年)
- 退教通信配信、署名請願

丹生

支部長：河邊 隆三
 会員数：117名・会費：2,000円
 80才以上G会員1,000円

- 支部総会 (中止書面)
 懇親会中止
- 退教通信配信、署名請願

南条

支部長：米野 眞一
 会員数：34名・会費：1,000円

- 11/19 支部総会・研修会・懇親会
- 退教通信配信、署名請願

三方上中

支部長：若新 一雄
 会員数：77名・会費：1,000円

- 役員会7回
- 支部総会 (中止書面)
- 退教通信配信、署名請願
- 支部研修交流会 (21名参加)
 ・ブライダルランドWAKASA
 とレインボーライン

吉田

支部長：室 秀典
 会員数：109名・会費：1,500円
 88才以上1,000円

- 支部総会 (中止書面)
- 退教通信配信、署名請願
- 11/5 研修会 (25名)
 講演「ギター・住職 命の法話」

坂井

支部長：細江 悦雄
 会員数：279名・会費：1,000円

- 9/3 支部総会
- 研修会・日帰り研修旅行は中止
- 退教通信配信、署名請願
- 入会勧誘

武生

支部長：福住 明典
 会員数：192名・会費：1,000円

- 支部総会 (中止書面)
 ・懇親会中止
- 11月会員研修 (33名参加)
 ・南地区ウォーキング
- 退教通信配信、署名請願

敦賀

支部長：岡本 章
 会員数：22名・会費：1,000円

- 支部総会 (中止書面)
 (コロナ及びインフルエンザにより)
- 退教通信配信、署名請願

小浜

支部長：古田 貞明
 会員数：99名・会費：1,000円

- 役員会 (5回)
- 地区委員会開催
- 支部総会、若狭プロ総会 (中止書面)
- 県総会報告 (書面配信)
- 退教通信配信、署名請願
- 若狭プロ研修会 (10月)
 ・寺院めぐり&ウォーキング

大野

支部長：川端 寛治
 会員数：133名・会費：2,000円

- 5/28 支部総会
 (3年ぶりに開催)
- 研修講座「心清らかに・・・」
 ・宝慶寺僧侶の法話と写経
- 退教通信配信、署名請願

鯖江

支部長：岸松 茂
 会員数：203名・会費：1,000円

- 役員会・実行委員会
- 支部総会 (中止書面)
 (支部総会資料作成・配信)
- 喜寿祝い贈呈
- 退教通信配信、署名請願

今立

支部長：小林 賢三
 会員数：34名・会費：1,500円
 (2年毎に3,000円)

- 支部総会 (中止書面)
- 退教通信配信、署名請願
- 会費徴収 (本年度2年分徴収)

三方

支部長：河合 政志
 会員数：34名・会費：1,000円

- 支部総会 (中止書面)
- 退教通信配信、署名請願
 (資料配信に併せて会員訪問)

大飯

支部長：福島 紀男
 会員数：36名・会費：1,000円

- 支部総会 (中止書面)
- 若狭プロ総会 (中止書面)
- 退教通信配信、署名請願
- 若狭プロ研修会 (10月)
 ・寺院めぐり&ウォーキング

「間部公をたたえる会」のお世話をして

鯖江支部 岸松 茂

村上から鯖江へ転封(1720年)されるのであるが、鯖江の地を踏むことなく病死して

先日「間部公をたたえる会」の総会が開かれた。退職後、鯖江公民館の館長就任より、かわりを持ち、今年で13年目になる。この会は、歴代の間部公の偉業をたたえようと昭和55年に発足した。

それにより、毎年10月14日に萬慶寺(鯖江市深江町 間部家菩提寺)にて歴代藩主の慰霊を唱うとともに偉業を偲び「間部忌」を行っている。

その他、鯖江藩校の名を受け継いでいる惜陰小・進徳小の6年生に対し、鯖江の歴史や間部公の偉業、日本文化への理解を少しでも深めてもらおうと、殿様学習会を毎年開催している。萬慶寺の天井絵の見学や説明を含め間部家の歴代藩主の話、西山公園と七代藩主詮勝(あきかつ)公との関係等について説明をしている。併せて、抹茶のお手前なども体験させている。

間部の殿様を語るとき、まず取り上げたいのは、初代詮言(あきとき)公である。詮言は越後



萬慶寺の天井絵を見上げる子どもたち

間部公をたたえる会 鯖江市市民文化賞選出 1団体10人を表彰



2021年1月16日(土)「福井新聞」 2021.1.15に『間部公をたたえる会』が鯖江市市民文化賞に選ばれ表彰されたことを示す記事

工！社北と東大寺

福井支部 間 和生

退職とともに、社北公民館の館長として「地域の宝を守り、伝える！」第二の人生を歩いています。

社北地区をご存じの方は少ないのではないのでしょうか。98スタジアムのある運動公園から福井競輪場手前までの地域です。また、日野川と足羽川には、はさまれた地区でもあります。この日野川と足羽川の豊かな水が、社北地区と東大寺とのつ



陽溪を領民とともに領民の憩いの場として拓くなど、領民思いの名君であった。萬慶寺の天井



ながりをいにしえより支えていたのです。奈良時代、東安居・社西・社南・社北の一角を「道守の庄」と呼び稲作が盛んであったようです。

そして、東大寺の大仏建立の折「道守の庄」から多くのお米を届け、東大寺の荘園となつたとの記録が多く残っています。その歴史を生かして始まったのがお米送りです。

平成十四年十月から始まり昨午が二十年目でした。二十年を記念して式典が開かれました。その時の式辞の一部を紹介します。「平成十四年にスタートした東大寺お米送り事業。友情田の安

絵は、そんな詮勝の作であるといわれている。

このように鯖江の基礎をつつた間部の殿様の遺徳を偲ぶとともに、功績を広く市民に理解してもらうためにも、この活動を今後長く続けていきたいと、決意を新たにしているとこ

最後、この活動が認められ、令和3年1月15日に鯖江市市民文化賞を受賞させていただきました。お世話を申し上げます。

全と豊作を祈願して足羽神社の神主により神事を執り行った。地域の方の指導で、一斉に田植えがスタートしました。」

まさに、地域と学校とで始まった地域の宝物を伝承する行事の始まりでした。さらに「地域の方々の協力を得て盛大に稲刈りは友情田。子どもたちは友情田を通して作物を育てる喜びや地域の歴史、伝統を学びました。また、この東大寺お米送りの初年度は東大寺開限千二百五十年の記念の年でした。多くの来訪者と参拝者が見守る中、社北の俵神輿も盛大な法要に参加したのでした。」

まさに、先人達の熱意・努力により、社北小学校と社北地区の共同行事がスタートしたので

「そして二十年。今度は、郵便局のご厚意により、社北小学校とPTAとまちづくり社北委員会の東大寺お米送りの共同行事が、全国に売り出される記念切手シートになりました。この事業の企画運営の中心となる、多くのPTAの役員さん、公民館の理事さん方の二十年来の努力や工夫なくしては、本日を迎

えられなかったのです。」

先人達が工夫し守ってきた地域の宝「東大寺お米送り」を多少は理解していただけたでしょう。

今年も、社北小学校の五年生が一行になり、地元の方々をリードして田植えが行われました。今年も私は、五年生を前に先人達が守り伝えてきた地域の宝を語りました。

まきえ

「蒔絵」と私

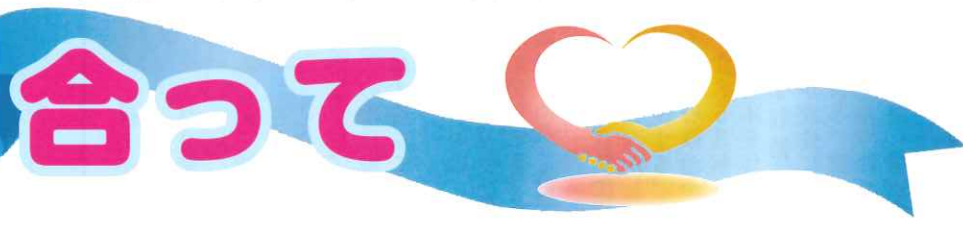
大野支部 中出 良一

私と「蒔絵」(漆器における加飾の一種)との接点は、鯖江市河和田に古くから伝わる越前漆器の伝統を後世につなげたいと願う職人さんとの出会いに始まる。かれこれ20年前のことだが、その取り組みの中で師匠のM氏との出会いがあった。

現在90歳に手が届くM氏は、「現代の名工」のお墨つきを持つ一流の絵師である。初めて目にした小物入れのカワセミにすっかり魅了されてしまったことを思い出す。獲物にねらいを定めた凜とした姿に生命を感じた。加えて、師の越前漆器への熱い思い、作品に傾ける純真さや探究心、そして飾らない人柄などに触れ、ファンになっていた。私も作品づくりを始めからは、幸せなことに弟子にさせていただいている。

私の画材は主に花鳥風月だが、蒔絵と出会ってから捉え方が大きく変化したように思う。そのひとつは、どこまでもありのままに描く心である。花や葉のうねりや微妙な色合いも大切にしている。二つ目は、それぞれの草花が最も映える構図へのこだわりである。出会いの喜びとでも言おうか。そして、蒔絵の技の真骨頂は“線”である。草花の葉脈や鳥の羽は勿論、水や風の流れ、時の移ろいを淀みのない繊細な線で表現することが求められる。私にはまだそれを描ききる自信がない。つまり未熟者なのだ。更に精進する人間でありたいと思う。

最後に、友との約束を果たすことだ。5年程前、私の作品に触れた友は、「褒に描いてくれ」と言ってくれた。何を描くかはその時決めた。しかしその友はもう居ない。だが、約束は守りたい。



「ソフトテニス」とともに

武生支部 品川 満

今年の4月27日から5月3日まで、「第27回日韓スポーツ交流・成人交歓交流」の日本選手団の一員として、韓国に行ってきました。まず、慶尚北道聞慶市「国際ソフトテニス場」での「2023全国生活体育大祝典」の大会に参加しました。この歳になって、初めて海外で韓国選手とプレーができてとても楽しかったです。対戦をした韓国選手は、ボールの打ち方にそれぞれ個性があってユニークでした。また、打つボールにも様々な回転をかけてきました。見慣れないプレーに少し戸惑いましたが、一球一球が楽しいゲームでした。

大会後は「文化探訪」で韓国の世界文化遺産を見学し、韓国の歴史学習もしっかりとしてきました。さらに、毎夜の夕食会では韓国料理をたっぷり味わってきました。

今度は、今年の9月15日から19日に開催される「日本スポーツマスターズ2023福井大会」で、韓国選手団を受け入れます。ソフトテニス競技会場は、越前市武生中央公園庭球場と東運動公園庭球場です。地元の大会競技役員として、韓国選手団のお世話に尽力したいと思っています。

私は、ソフトテニスを中学・高校・大学と部活動で楽しんできました。就職して10年程は離れていましたが、再びテニスコートに足を運び始め、平成9年に友人と「武生ソフトテニススポーツ少年団」を設立し、指導者として現在まで26年間活動を続けています。そして、自分自身も友人とペアを組みシニアの大会に出場したり、競技団体の役員として団体をはじめ各大会運営に関わったりしてきました。また、息子もソフトテニスが続けています。息子の応援で、日本各地で開催される大会に出向き、お陰様で多くの人に出会ったり、各地を旅行したりできました。私が12歳の春に出会ったソフトテニス。すっかり愛好者になって早くも半世紀を過ぎました。



健康長寿は後1年、残りは余生

三方支部 内田 雅文

映画「プラン75」を見ました。『少子高齢化が一層進んだ近い将来の日本。満75歳から生死の選択権を与える制度(プラン75)が国会で可決・施行された』という設定です。超高齢化問題の解決策として、世間はすっかり受け入れムードとなり、設定年齢を65歳まで下げようかという案も出て来ます。冗談じゃない!私には後1年しか無いじゃないですか。

私は退職後、週5日7時間勤務のパート保育士として4年間勤めてきました。後1年で65歳です。この4年間は、それはそれは楽しくあつという間に過ぎ去る日々でした。ですが、張り切りすぎて腰を痛め、この春に退職を決意しました。映画なら、職を失い人生の目的を失い、自ら「プラン75」に応募するのでしょうか、私はいやです!



娘家族のお手伝いに行くことにしました。発熱した、入院した、会議で遅くなる等、娘夫婦の都合が悪い日は、片道2時間半の運転も何のその、いそいそと駆けつけます。また、待機保育士として採用され、今日も未満児のおむつを替え、ミルクを与え、天使のような園児たちに遊んでもらってきました。

さらに、昨年12月からは民生児童委員に任命され、毎月1回のふれあいサロンを開催、65歳以上のお姉様方とお茶しながら、映画を見たり、健康麻雀を教えたり、中華料理の出前を頼んだり、筆ペンを使った作品作りをしたり、と楽しんでいきます。

好きに動ける健康寿命は後1年と思い、目一杯楽しみたいと思っています。生き延びれば後は余生です。また何か楽しみが…。



子どもに本と心を

小浜支部 高鳥 恭子

退職寸前に、地域の人から「読み聞かせボランティア」に参加して欲しいと依頼があった。元々本好きだったし、担任のときは、時間を見つけては、読み聞かせをしていたので、直ぐに承諾した。子どもたちは、本を読んでもらうことを好む。そして、読み聞かせを続けていると、子どもの心が落ち着いてくるのである。

そこで、地元の小学校で朝の時間に月2・3回読み聞かせを始めた。まず、本選びである。15分という時間に読める絵本1・2冊を目安に学年や季節、そして時には平和や人権といったテーマを考慮しながら、手持ちの本や図書館で借りた本から選んだ。何より子どもが興味を持ちそうな内容が大切だ。図書館に行くと、最低1時間は本選びに没頭する。子どもの反応を想像する楽しい時間だ。

学校に行くと、子どもの反応は様々だ。不思議な話の展開には「ええっ」と声を上げたり、「ありえん」と呟いたり。怖い出来事が次々起こる物語では、最後に母親が必死で子どもを助けた場面で、自然と拍手が起こった。「あなたの町は晴れていますか」と本を読んだら、「雪降っ」と返ってきた。もう一度読んだら、「さっき、言ったやん」このような日々の子どもの反応に癒やされたり、元気を貰ったりしている。似た内容の昔話で日本と外国のを比較して読んだら、子どもたちが昔話に興味を持って自然と本を持ち寄り、学級に昔話コーナーが出来たと聞いた。読書の楽しさが分かってくれたと、継続のエネルギーにもなる。体力の続く限り、この触れ合いを続けたいと願っている。



つながりあっている ということ

丹生支部 故田 利恵

退職してからしばらくは朝ゆっくりして、掃除をしたり草むしりをしたり、孫の面倒をみたりして時を過ごしていました。ふと気がつくとコロナの波が押し寄せ、行事はなくなり近所の人との雑談の機会も減り、このまま人とのつながりがなくなってしまうのではないかと心配しながらの毎日でした。

そんなときお盆が近づきお墓の草むしりをしていると、少し離れたところから、「達者でしたか？うちもみんな何とかやっています」。というおばあちゃんの声。

「父ちゃん近頃太りすぎて心配なんでまた見てやってくださいね」。という娘さんの声。いろいろな方から声をかけていただきました。

表面的にはつながっていないときでも心の底の方ではつながっているんだなと思うことが最近よくあります。それは、退職して、またコロナ禍で人とのつながりが薄くなった分、今までの自分を見つめ直す機会が増えたからだと思います。お同行や近所の皆さんや周りのすべての人のおかげで生かされて、今の自分があるのだなと改めて気付くことができました。

今はもう亡くなった方々からいただいた何ともいえない温かい笑顔、落ち込みそうになったときに力づけられた何気ない一言もふとした瞬間よみがえることが幾度となくあります。そのたび心が思わず笑顔になります。

これからの自分も心の奥底で周りの人とつながり合っていけるような生き方をしていきたいなど強く思っている毎日です。

つながり



県退教ミニギャラリー作品より

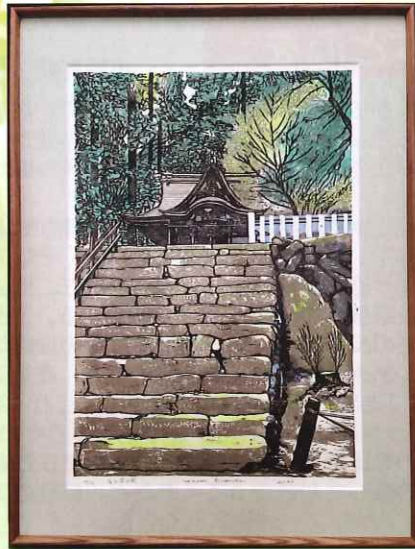
絵手紙

絵手紙の会の
皆さんの作品

県退教ミニギャラリー作品より



パステル画 「大仏すす払い」
多田 治周 氏 (勝山)



木版 「石と苔の宮」
黒田 眞生 氏 (勝山)



書 「無量寿」
堀田 稔 氏 (小浜)



写真 「冬の海」 日芳 達也 氏 (坂井)

◎ 絵画・写真・工芸手芸
品・書・短歌・俳句等
気軽に出品ください。
ご連絡は県退教へ。
◎ 心に残る作品が出品
されています。近く
へお越しの折はぜひ
ご鑑賞ください。



編集後記 新型コロナウイルスが5類に移行して以来、様々な活動が復活してきました。学校現場からは体育館で全校活動を行ったこと、マスク登校をやめたこと、県外修学旅行を復活させたことなどを耳にすると、以前は当たり前だった活動が今は新鮮に聞こえます。当たり前前に生活することがとても大切なことと思われ知られました。コロナ禍によって人と人との絆も改めて重要なことに気づかされました。今回の総会では、会員が減少傾向にあるものの新入会員が久し振りに70名を超えたという報告がありました。うれしいことです。県退教通信が会員を繋げる一助となり、減少の歯止めになることを願っています。最後に、原稿をお寄せいただきました皆様様に厚くお礼申し上げます。(岩田美智恵・和多田訓子・平馬吉隆)

森 鶴田 哲夫	87 90	山内美智子	93 86	高屋 正一	90 83	谷口 颯意	64 75	齊藤 義男	92 86	井上 政夫	92 92	寺本 昌孝	92 96	滝元 敏文	92 96	岡本 照子	92 96	岩野 安廣	92 96	三上英太郎	92 85	小笠原繁義	96 93	前川 哲雄	91 95	面 邦雄	91 95	杉野 和子	91 95	池田 寛	91 95	寺角 寛	91 95	佐々木小夜子	91 95																												
宮本千代枝	97	南部 勇	77	下牧 三郎	103	飯田 洋子	91	藤堂 佳澄	96	和田婦み子	101	藤澤 道子	101	辻 健仁郎	84	前川 禮子	92	前川 達男	92	林 かよ子	80	橋本 一志	85	清水 義夫	85	平澤 光雄	85	青木 敏子	91	安立 雅敏	91	本田 富栄	95	山田 孝雄	94	廣田 澄子	94	永宮 紀一	77	杉本 久子	92	上田 信子	82	佐々木英成	99	岸本 咲子	88	岸本 和子	92	武長 武子	91	大峽 静子	82	永田 勉	94	森下つげの	83	吹上 武次	94	菅原儀平治	91	児玉美智子	88

会員物故者氏名 (敬称略) (令和5年7月21日現在)
謹んでご冥福をお祈りします。